

議案第 37 号

おいらせ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

おいらせ町国民健康保険税条例(平成18年おいらせ町条例第56号)の一部を改正する条例を別紙のとおり定める。

令和 2 年 6 月 4 日 提出

おいらせ町長 成 田 隆

提案理由

新型コロナウイルス感染症の影響により、一定程度収入が減少した被保険者の保険税を減免し、負担を軽減するため提案するものである。

おいらせ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

おいらせ町国民健康保険税条例(平成18年おいらせ町条例第56号)の一部を次のように改正する。

附則に次の2項を加える。

(新型コロナウイルス感染症による保険税の減免の特例)

23 新型コロナウイルス感染症(新型インフルエンザ等対策特別措置法(平成24年法律第31号)附則第1条の2第1項に規定する新型コロナウイルス感染症をいう。以下同じ。)の影響により収入の減少が見込まれる場合等における令和2年2月1日から令和3年3月31日までの間に納期限(特別徴収の場合にあつては、特別徴収対象年金給付の支払日。以下この項において同じ。)が定められている保険税(被保険者の資格を取得した日から14日以内に国民健康保険法施行規則(昭和33年厚生省令第53号)第2条第1項の規定による届出が行われなかったため令和2年2月1日以降に納期限が定められている保険税であつて、当該届出が被保険者の資格を取得した日から14日以内に行われていたならば同年2月1日前に納期限が定められるべきものを除く。)の減免については、次の各号のいずれかに該当する者は、第24条の2第1項に規定する保険料の減免の要件を満たすものとして、同項の規定を適用する。

(1) 新型コロナウイルス感染症により、被保険者の属する世帯の生計を主として維持する者が死亡し、又は重篤な傷病を負ったこと。

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響により、被保険者の属する世帯の生計を主として維持する者の事業収入、不動産収入、山林収入又は給与収入(以下この号において「事業収入等」という。)の減少が見込まれ、次のアからウに該当すること。

ア 世帯の生計を主として維持する者の事業収入等のいずれかの減少額(保険金、損害賠償等により補填されるべき金額がある

ときは、当該金額を控除した額）が前年の当該事業収入等の額の10分の3以上であること。

イ 世帯の生計を主として維持する者の前年の法第314の2第1項に規定する総所得金額及び山林所得金額並びに国民健康保険法施行令（昭和33年政令第362号）第27条の2第1項に規定する他の所得と区別して計算される所得の金額（法第314条の2第1項各号及び第2項の規定の適用がある場合には、その適用前の金額。）の合計額が1,000万円以下であること。

ウ 減少することが見込まれる世帯の生計を主として維持する者の事業収入等に係る所得以外の前年の所得の合計額が400万円以下であること。

24 前項の場合における第24条の2第2項の規定の適用については、同項中「提出しなければならない」とあるのは、「提出しなければならない。ただし、町長は、これにより難い事情があると認めるときは、別に申請期限を定めることができる」とする。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、改正後のおいらせ町国民健康保険税条例附則第23項及び第24項の規定は、令和2年2月1日から適用する。